



看護業務改善・看護活動報告会

副看護師長会議 業務改善報告会グループ / 4階病棟副看護師長 岡部 佐代子

看護部では、平成28年度より看護業務の改善、看護活動の可視化と共有に取り組み、看護の質の向上を目的に、年に1回、副看護師長のグループ活動として「看護業務改善・看護活動報告会」を開催しています。

この会は病棟の業務改善や看護部委員会の活動、看護研究など、その成果を発表・報告する会となっています。

そして、これらの成果や活動内容を『事例集』として冊子を作成し、各病棟の看護師にはもちろん、院内の各セクションにも配布し看護部の活動を周知しています。

看護業務の改善は、看護の質を現状よりも高い水準に向上させていくことを目的に、現状を分析し問題を明確にして問題解決を図っていく現場の活動です。問題意識をもって、日々行われている業務を見直し、改善の余地があれば改善していく年々の意図的な実践の継続が看護の質を向上させていきます。

今年度は看護部の目標のひとつである「人材育成と自己啓発・研鑽の推進」に基づき、この一年間各部署で業務を見直し改善に取り組んできました。3月14日に『第4回 看護業務改善・看護活動報告会』の開催予定でしたが、世界中で蔓延しているCOVID-19(新型コロナウイルス)の影響により残念ながら開催は中止となってしまいました。

報告会の様子はお届けできませんが今回は作成した事例集を掲載します。

発表は28演題

- ・看護業務改善 14演題
- ・委員会報告 3題
- ・専門看護師看護活動 2題
- ・看護研究 7題
- ・副看護師長活動報告 2題



《事例集 表紙》

報告会では毎年、『キラキラグランプリ』『準キラキラグランプリ』を設け、一番印象に残った発表や自分の部署に応用してみたい活動内容の発表に、参加した職員が投票を行い表彰しています。今年度は、看護部長・副看護部長による選出で、キラキラグランプリ・準キラキラグランプリ、さらに看護部長より特別賞が追加され3つの賞が決定されました。



★★★★キラキラグランプリ

『手術室ROOM8としてのシネアンギオ室のあり方』 手術室

【看護部長コメント】

手術室とシネアンギオ室の一元化を行っているが、カテーテル検査の介助経験が少ない看護師たちが、不安なく検査介助が出来るようにマニュアル作成した内容の報告であり、その内容は業務の効率化につながった。

★★準キラキラグランプリ

『在宅療養移行時の衛生材料と在宅療養指導管理料のリスト化』 地域医療連携室

【看護部長コメント】

入院患者が在宅療養に移行できるようリスト化したことで、患者・家族、看護師も分かりやすくなり、円滑な在宅療養に繋がった。

★特別賞

『高齢者の食事環境を考えた「共食(きょうしょく)」への取り組み』 4階病棟

【看護部長コメント】

入院中の高齢者が食事を楽しく摂るための試みで、今後この取り組みに参加する人数の増加と他部署へ広がっていくことを期待する。

準キラキラグランプリ



キラキラグランプリ



特別賞



今後もこのような報告会を通し、自分達の実践している看護が見えるように表すこと、客観的にみる事、他部署の実践や看護の活動を学びとする事、これを繰り返すことで、患者の視点に立ち、安全で質の高い看護が提供できる自立・自律した看護の集団になっていきたいと思ひます。そして、来年度は今年度の分を含めて、さらに充実した有意義な報告会を目指していきたいと思ひます。